

『第 1 回 千葉県 停電復旧に関するプロジェクト会議』の 開催結果について

本日開催した「第 1 回 千葉県 停電復旧に関するプロジェクト会議」の開催結果についてお知らせします。

- 台風第 2 5 号により、停電が長期化している地域があり、早期の停電復旧に向けて、関係機関が連携して取り組んでいくことを確認した。
- 東京電力パワーグリッド(以下「東京電力」。)からは、最大約 5 万 8 千軒ほどの停電があったが、現在は 1 万軒を切ったところであるなど停電復旧に向けた取組状況について報告があった。また、各自治体とコミュニケーションをとりながら対応しているが、ここから先の復旧には更なる連携をとりながら対応したい旨の報告があった。
- 停電世帯数が多い市原市からは、東京電力と連携して啓開作業を実施している旨の報告があった。
- 君津市からは、倒木、法面崩落により停電が発生している。市に東京電力リエゾンが来ており、情報共有しながら復旧作業を進めている旨の報告があった。
- 木更津市からは倒木、法面崩落により停電が発生しているが、東京電力と立ち会いが出来ていないため、東京電力に立ち会いの要請をしている旨の報告があった。
- 勝浦市からは、全面通行止めになるような道路は少なく、現在は勝浦市の管理する道路は全面通行止めはない旨の報告があった。
- 経済産業省関東東北産業保安監督部としても可能な支援を行っていく旨の報告があった。

○関東地方整備局からは、停電復旧に向け、被災状況の早期把握に必要なドローンを活用した調査や、道路啓開・応急復旧等について、関係機関の要請や現地の状況を踏まえながら必要な支援を実施していく旨の説明があった。

○千葉県県土整備部からは、県管理道路の通行規制箇所や復旧状況等の報告があった。東京電力のリストと重要度を踏まえて啓開作業を進めたい。また、写真を提供いただきたい旨のお願いがあった。

○自衛隊からは国土交通省等に対応できない道路啓開について倒木除去など、支援できる可能性がある旨の報告があった。

○内閣府からは、人命の観点も踏まえて優先順位を決定してほしい旨の発言があった。

※会議次第とプロジェクトチーム構成員は別添のとおり。